

英語

第4回

解答

- 問1 (ア) No. 1 4 No. 2 1 No. 3 3
 (イ) No. 1 1 No. 2 2
 (ウ) No. 1 3 No. 2 2
- 問2 (ア) 3 (イ) 1 (ウ) 4
- 問3 (ア) 3 (イ) 3 (ウ) 4 (エ) 2
- 問4 (ア) 2, 5 (イ) 3, 5 (ウ) 1, 3 (エ) 4, 3
- 問5 〔例〕 where do you want to take them
- 問6 (ア) 4 (イ) 2 (ウ) 3
- 問7 (ア) 4 (イ) 2
- 問8 (ア) 2 (イ) 6 (ウ) 5

配点

- 問1 各3点×7=21点
 問2 各2点×3=6点
 問3 各3点×4=12点
 問4 各4点×4=16点
 問5 5点
 問6 各5点×3=15点
 問7 各5点×2=10点
 問8 各5点×3=15点

—採点基準— 問4 各完答。

〔解説〕

- 問1 (ア) No. 1 日本の多くの都市に行ったことがあると言うテッドに「どこにもう一度行きたいですか」とユミがたずねている。「ええと、大阪に行きたいです」 No. 2 「それ(=ユミが図書館で借りた本)を読みたいですか」→「はい。あなたのあとにそれを借ります」 No. 3 音楽部の練習時間を増やすべきだというユミの意見に、テッドは同意していない。「どういう意味ですか」→「私たちは今、十分に練習時間があると思います」
 (イ) No. 1 ジムは日本の古いマンガ本はおもしろく、それらを読むことは日本について学ぶよい方法だと言っている。また、それらをたいていインターネットで買うと言っている。 No. 2 エミとジムは、エミの音楽部のコンサートのビデオを見ながら話している。
 (ウ) No. 1 ① 図書室は、以前コンピュータ室だった部屋に移動した。それは職員室の隣にある。 ② 図書室には1,200冊の本があったが、さらに800冊増えたので2,000冊。 ③ 本を借りられる期間は14日間、つまり2週間。
 No. 2 ④ 「たくさんの人がいた」→「静かに読むのを楽しめなかった」と考える。 ⑤ 文の後半の「それらについての本がもっとほしいです」より考える。be interested in ~「～に興味がある」
- 問2 (ア) 「そして、彼らのほとんどが外で、たとえば川から飲み水を集めるのです」 (イ) 「彼らは毎日、そこから自分たちの家へと水を運ばなければなりません」 毎日飲み水を運ぶ先を考える。5行目のhomeもヒントになる。
 (ウ) 「それ(=外の水)はしばしばその人たちを病気にしますが、彼らは医者にみてもらいに行くことさえできません」 (make+人+形容詞)「(人)を～(の状態)にする」
- 問3 (ア) 「これは横浜へ行く電車ですか」 先行詞 the train は〈もの〉で3人称単数なので、主格の関係代名詞 that のあとは goes。 (イ) 「あなたがその本を見つけたら私に知らせてください」 (let ~+動詞の原形)「～に…させる[するのをゆるす]」の形。 (ウ) 「『白鷺城』と呼ばれる城は姫路にあります」 castle と call は「～と呼ばれる城」という受け身の関係なので〈名詞+過去分詞～〉の後置修飾にする。 (エ) 「私は北海道を訪れ、そこで楽しい時を過ごしました」 have a great[good] time「楽しい時を過ごす」 前に an ではなく a があるので amazing は適さない。
- 問4 (ア) I want a small bag like yours. 「私はあなたのもののような小さいかばんがほしいです」 (like+ (代)名詞)「～のような」 yours 「あなたのもの」 (イ) It was full of people watching the game. 「それ(=サッカースタジアム)は試合を見ている人々でいっぱいでした」 be full of ~「～でいっぱいである」 現在分詞 watching が後ろから people を修飾している。 (ウ) I have some pictures of interesting animals which live in Australia. 「私はオーストラリアにすむ興味深い動物たちの写真を何枚か持っています」 (which(主格の関係代名詞)+動詞～)で animals を修飾している。which に続く動詞の形は先行詞 animals の人称・数に合わせる。 (エ) Can you tell me when to have the next meeting? 「いつ次のミーティングをすべきか私に教えてくださいか」〈疑問詞+to+動詞の原形～〉は tell の2つ目の目的語。「月曜の午後が最適だと思います」と答えているので、when to ~「いつ～するべきか」にする。

問5 マイが受け取ったEメールの内容と、ビルの応答の内容から判断する。

問6 (ア) 本文8～9行目より、「1日2時間から3時間利用する生徒の数は、1日3時間から4時間利用する生徒の数と同じ」なので3は不適。本文12行目より、「毎日1時間以内でSNSを利用している生徒の数は最も少ない」ので2も不適。本文12～13行目より、「それ(=SNSの利用時間が1時間以内の生徒の数)は、5時間を超えてSNSを利用している生徒のちょうど半分の数」なので、適するのは4。(イ) 【全訳】参照。(ウ) b「ケンとはときどき、チャットサービスを使って次の週末に自分が何をするつもりかを友達に伝えます」本文15～17行目参照。

d「ケンは友達の写真を投稿したとき、それについて友達が怒ることがあると考えませんでした」本文24行目参照。

【全訳】

みなさん、こんにちは。私はケンです。今日はSNSを使うことについてお話しさせてください。みなさんの大部分がそれを使ったことがあると思います。しかし、私の母は、学生があまりに長くそれを使うのは危険だと思っています。母は私に、「あなたはSNSをあまりにも長く使っているわ！ 1日1時間以上利用してはいけません」と言います。私はそれがうれしくありません。1時間は私には短すぎます。私が正しいということをも母に示したいと思ったので、私は自分のクラスやほかのクラスの生徒たちに、彼らのSNS生活についてたずねました。最終的に100人の生徒の回答を得ました。私がこのレポートを書くのをヤマダ先生が手伝ってくださいました。

まず、「1日にどれくらい長くSNSを利用しますか」と私はたずねました。グラフ1は生徒数を示しています。

SNSを1日2時間から3時間利用する生徒の数は、1日3時間から4時間利用する生徒の数と同じです。この2つのグループの生徒の合計の数は46で、全体の100人の生徒のほぼ半分です。私はふつう1日3時間くらいSNSを利用しているので、(イ)～A 私たちの学校内のほかの生徒よりそれほど長く利用していないと思います。母にこれらの数字を見せたいと思います。毎日1時間以内でSNSを利用している生徒は最も少数です。それは、5時間を超えてSNSを利用している生徒のちょうど半分の数です。私でさえ5時間はとても長いと思います。彼らはSNSで何をしているのでしょうか。私の次の質問はそのことについてです。私は「どんな種類のSNSを利用していますか」とたずねました。生徒の間で最も人気のあるサービスはチャットサービスです。このサービスを利用することで、簡単にほかの何人かの人たちと同時にメッセージを交換することができます。私は次の週末の予定といったことを友人たちに伝えるのにそれを使っています。とても便利で楽しいので、それを使っているとき、私はよく時間を忘れてしまいます。写真サービスが次です。

ところで、生徒たちにSNSについて聞いているうちに、数名の生徒からSNSについての不安をいくつか聞きました。たとえば、ある女子が彼女の友人の写真をその友人に知らせずにSNS

に投稿しました。その女子は友人がその写真でとてもかわいく見えると思ったので、ただほかの生徒たちにそれを見せたかったのです。でも、別の友人からその写真について聞いたとき、その友人はとても腹を立て、それ以来彼女はその女子と話をしていません。この話を聞いて私は驚きました。私も以前友人たちの写真を投稿したことがあり、彼らが怒るかもしれないとは思いませんでした。それから私はSNSでの問題点について質問することになりました。グラフ2を見てください。

問題を引き起こしかねないSNSでのどんな経験がありますか。

- ・自分の写真が知らないうちに投稿された。
- ・自分の写真を自分で投稿した。
- ・本人に伝えずにほかの人の写真を投稿した。
- ・ほかの人に悪口を書かれた。
- ・ほかの人の悪口を書いた。
- ・SNS上である人と友達になり、実際にその人に会った。

*生徒は複数回答できます。

グラフ2は、(イ)～C 多くの生徒がSNSに投稿された写真について心配していたことを示しています。ヤマダ先生は「写真は人物についての非常に重要な情報であるから、小さなものでもSNSに投稿するべきではありません。また、何らかの理由で友人の写真を投稿する必要がある場合は、十分に注意し、投稿する前にその友人にそのことを伝えるべきです」とおっしゃいます。2人の生徒がSNSでだれかと友達になり、実際にその人に会いました。ヤマダ先生は、これが最も危険なことだとおっしゃいます。SNSを利用することで、私たちはさまざまな種類の人々と話すことができます。彼らはみなさんに多くのよい情報を与えるかもしれませんが、みなさんは彼らがとてもよい人だとも思うかもしれませんが、もちろん、本当によい人もいますが、ほかに悪い人もいるかもしれません。彼らはみなさんやみなさんの友人、家族に悪いことをするかもしれません。

今では、私は母の心配が理解できます。私は(イ)～B SNSには、私たちにとって多くのよい点と悪い点があると思います。そのことをよく理解し、正しい方法で利用することが私たちにとって大切です。そうすれば、私たちのSNS生活はよりよくなるでしょう。

問7 (ア) 今8時50分で、あさひ駅に次の電車が来るのは10分後の9時。ジョンは9時30分より前にユイの駅に着くと言っているので、各駅間の所要時間から、ユイが乗車する駅はひなた駅～つきみ駅となる。また、さくら駅まで15分以内のところにあるのはひので駅とつきみ駅。以上より、両方の条件に合うのはつきみ駅。(イ) 先月から1か月間のガス使用量は $2,016\text{m}^3 - 1,921\text{m}^3 = 95\text{m}^3$ 。料金表より、使用量 95m^3 のときの料金は 1m^3 当たり123円なので、使用したガスに対する料金は $95(\text{m}^3) \times 123(\text{円}) = 11,685\text{円}$ 。これに基本料金1,056円を加え、支払う料金は $11,685(\text{円}) + 1,056(\text{円}) = 12,741\text{円}$ となる。

【ア全訳】

日曜日、ジョンとユイはコンサートに行くところですよ。コンサートホールはさくら駅の近くにあります。彼らは2人ともさくら駅へ行くために地下鉄を使い、電車の中で会いたいと考えています。彼らはスマートフォンを使ってお互いにメッセージを送り合っています。

ジョン：ごめんなさい、ユイ。ぼくはたった今あさひ駅で電車に乗り遅れちゃったんだ。次のに乗るよ。

ユイ：わかったわ。私はまだ家にいるの。今8時50分ね。次のはいつ来るの？

ジョン：10分後だよ。

ユイ：じゃあ、私は自分の駅から同じ電車に乗るわ。

ジョン：わかった。ぼくはさきみの駅に9時30分より前に着くよ。

ユイ：大丈夫よ、ジョン。私たちはそこから15分以内にさくら駅に着くわ。コンサートには遅れないわよ。

ジョン：ありがとう、ユイ。じゃあ、あとでね。

【イ全訳】

ある朝、ガス会社の男性が、アンナの家のガス使用量を見るため、ガスメーターを調べて彼女の家に來ます。アンナのお母さんは彼と話しています。

男性：おはようございます。ガスメーターを調べてもよろしいですか。

アンナの母：ああ、はい、どうぞ。ガスメーターは裏庭にあります。中へどうぞ。

男性が中に入りガスメーターを調べます。

男性：ああ、たくさん使いましたね！ 1か月前、メーターは1.921m³を示していましたが、今は2.016m³を示しています。

その差が先月からのガスの使用量です。

アンナの母：まあ、それは多いわ。ガストープのためね。

男性：多分そうだと思います。これが今月の請求書です。どうぞ。

問8 (ア) 本文35～36行目のマットの発言を受けて、「自分たち(＝日本人の生徒たち)にとってルールを覚えておくことは難しいです」ということを伝えている。(イ) ア群 本文20～25行目より、牛乳などの紙パックは古紙ではなくプラスチックごみに分類するので、Bは不適。3人がポスターのあるところに来てからの対話より、不燃ごみの収集車がくる日は火曜日なので、Aも不適。イ群 本文24～25行目よりプラスチックごみのごみ箱の色は「赤」、本文52行目より古紙のごみ箱の色は「緑」なので、Yが適切。(ウ) c「すべての生徒が、交替で校舎裏の場所にゴミ袋を持っていけます」本文28～33行目のカナとマットの発言参照。f「校舎全体で35個のごみ箱がありますが、教室にはごみ箱は1つありません」本文最後から2つ目のマットの発言以降参照。校舎全体で5か所のごみ置き場があり、それぞれに7個1組のごみ箱が置かれているので、校舎全体では35個のごみ箱があることになる。

【全訳】

カナとフミヤは高校生で、マットは先週アメリカから彼らの学校に来た生徒です。彼らは校舎の中を歩いています。

カナ：私たちは学校中をたくさん歩いたわね。ここに座りましょう。

マット：ええと、今日はどうもありがとう。ほくはこの学校のことがとてもよくわかったよ。この学校はとてもきれいだね。ほくはそれが好きだな。

フミヤ：どういたしまして、そしてありがとう、マット。ほくたちもこの学校が大好きなんだ。ねえ、何か飲むものがほしいかい？ ここで買えるよ。

マット：いいね。ほくはとてものどがかわいているよ。何か冷たいものがほしいな。

3人の生徒は小さな紙パック入りのジュースを購入します。

マット：ああ、このジュースはおいしいね。もう飲み終わったよ。ごみ箱はどこ？

カナ：向こうを見て。角にごみ箱が7つあるわ。私たちはごみを7種類に分別して、それぞれの種類のごみを正しいごみ箱に入れるのよ。

マット：7種類？ そんなにたくさん！

カナ：ええ、でもこの作業はリサイクルにとって、とても大切な。以前は学校の職員がごみを分別していたのだけど、現在は各生徒がこの作業を行っているわ。この作業を通して、私たち一人一人がごみ問題とリサイクルについて多くを学ぶことができるのよ。

フミヤ：7種類とは、可燃ごみと不燃ごみ、プラスチック、ペットボトル、ガラスびん、缶、古紙だよ。

マット：なるほど。このジュースのパックは紙でできているから、古紙のごみ箱に入れるべきなんだね？

フミヤ：ええと、実はそうではないんだ。ジュースや牛乳の紙パックには、ふつう特殊なプラスチックがついているんだ。市役所の職員の人たちが、リサイクルするために紙からプラスチックをはがさなければならない。ほくらの市では、そのような紙パックはプラスチックといっしょに集められているんだよ。だから、そのパックはプラスチック用の赤いごみ箱に入れるんだ。

マット：少し難しいルールだけど、覚えるようにするね。ほかに何か覚えておくべきことはある？

カナ：それぞれのごみの種類について収集日を覚えておく必要があるわ。数人の生徒があのごみ箱からごみ袋を取り出して、その袋を収集日の前日に校舎裏の正しい場所に持っていくの。ごみの種類ごとにそれぞれの収集日があるわ。

マット：どの生徒がその作業をするの？

カナ：私たちの学校のすべての生徒が交替でその作業をするの。たぶん、あなたもまもなくそれをしなければならないわ。

マット：つまり、ほくは7つのごみの種類と7つの異なった収

集日を覚えておかないといけないということか。ほくにはすぐにそれができるかわからないよ。

フミヤ：心配しないで、マット。大変なのはほくたちも同じだし、その方法を示すポスターがあるよ。向こうに英語で書かれたものもあるんだ。そこに行って見てみよう。

3人の生徒はポスターのあるところに行きます。

フミヤ：このポスターを見て。ごみの種類とその収集日を示しているよ。

マット：それはとても便利だね。いくつか絵があるから簡単に理解できる。たとえば、火曜日に不燃ごみのごみ箱からごみ袋を出すんだよね？

フミヤ：そうではないよ、マット。このポスターは市役所がこの市に住んでいる人のために作ったものだから、このポスター上の曜日はその日にごみ収集車が来て、ごみを集めるということの意味するんだ。ごみ収集車はふつう朝の8時か9時に来るから、ほくたちは収集日の前日の放課後にごみを持っていかなければならないよ。

マット：もう、わかったぞ。ほくたちは月曜日に不燃ごみの袋を持っていかなければならないんだ。

カナ：その通り。えっと、じゃあそのポスターの隣の掲示を見て。何人かの生徒たちがそれを作ったの。それは、ごみ箱の色を示しているから、それで正しいごみ箱を知ることができるのよ。

マット：なるほど。たとえば、ほくたちは古いノートを緑色のごみ箱に入れるべきなんだね。

カナ：完璧よ！

マット：それから、いくつかほかに質問があるよ。正しい日にごみ袋を出すのを忘れるとどうなるの？

フミヤ：次の収集日まで待たないといけないので、いくつか問題が起きるんだ。ほとんどの場合、問題はそれほど大きくないけど、ごみ箱にあまりにたくさんごみが残っていると、ほかのごみを入れられなくなるんだ。実は、ほくは夏に一度その作業を忘れてしまい、可燃ごみがひどい臭いがしたよ。それはとてももらい立しい経験だった。それ以来、ほくはより慎重になっているよ。

マット：なるほど。校舎全体にごみ箱はいくつあるの？

フミヤ：全部で5つのごみ置き場があり、各ごみ置き場には7個1組のごみ箱があるよ。

カナ：各教室にはごみ箱がないから、ごみ置き場のうちの1つまでごみを持っていかなければならないの。これは少し面倒だけど、そのおかげで、私たちはごみを減らそうとするわ。私は放課後にごみを持っていっしょにごみ置き場に行くとき、友達と話をするのを楽しんでもいるのよ。

マット：それはいいね。ほくは今、一層この学校が好きになったよ。

問題(ア) No. 1

Yumi : Hi, Ted. Have you traveled around Japan a lot?

Ted : Yes, Yumi. I've been to Kyoto, Osaka, Sapporo, and ... many other cities.

Yumi : Great! Where do you want to go again?

Ted : (チャイム)

No. 2

Yumi : Ted, I borrowed this book from the library. It's interesting.

Ted : What is the book about, Yumi?

Yumi : It's about people working to help many animals. Do you want to read it?

Ted : (チャイム)

No. 3

Yumi : Listen, Ted. I think our music club should have much more time to practice. What do you think?

Ted : Well, Yumi, I understand you, but I don't agree with you about having more time to practice.

Yumi : Oh, what do you mean, Ted?

Ted : (チャイム)

問題(イ) No. 1

Emi : Hi, Jim. What are you reading now?

Jim : I'm reading an old Japanese comic book which was written many years ago. It's very interesting.

Emi : Do you have a lot of old Japanese comic books?

Jim : Yes, Emi. I have more than one hundred. For me, it's a lot of fun to read old Japanese comic

books, and that is also a good way to learn about Japan.

Emi : Oh, I see, but I don't usually see them in bookstores. How do you get them?

Jim : I usually buy them on the Internet.

No. 2

Emi : Jim, this is a video of the concert held by my music club last Sunday. Let's watch it together.

Jim : Oh, you are playing the violin, Emi. You're playing very well.

Emi : Thank you, Jim. Do you know the boy playing the piano?

Jim : He is Ken, right? I often play soccer with him.

Emi : Oh, really? He can play the violin, too.

Jim : That's nice. He's good at many things.

問題(ウ)

Hi, everyone. Now, I am going to tell you about our new school library. Last month, our school library moved to the room used as a computer room before. It is next to the teachers' room. The number of books in our library was about 1,200, but we got 800 more books. Our library became larger and has many more books now. You can borrow three books and keep them for fourteen days. If you can't find books to read, you can ask us. What do you want to know about? What kind of books do you want to read? Tell us, please. I hope our new library will help you when you want to enjoy reading.